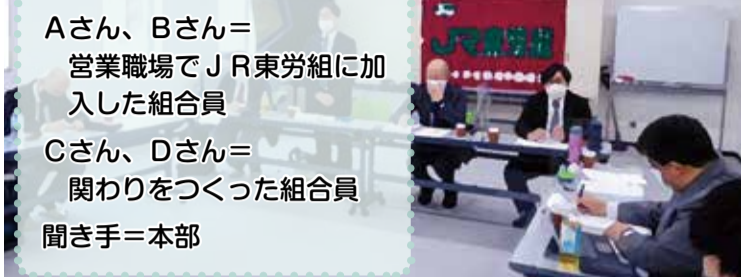


JR東労組に加入した仲間から、組織拡大の教訓を学ぶ4.8意見交換会



Aさん、Bさん＝
営業職場でJR東労組に加入した組合員
Cさん、Dさん＝
関わりをつくった組合員
聞き手＝本部

2021年4月8日、中央本部は営業職場でJR東労組に加入した2名ならびに関わりをつくった組合員と意見交換会を行いました。意見交換会では今後の組織拡大に向けて教訓となることが多くあったことから、意見交換の内容を緑の風に掲載します。各職場で読み合わせを行い、組織拡大へ繋げていきましょう！

採用と入社時にJR東労組に加入したきっかけを教えてください。

A 社会人採用で入社しました。最初は駅で営業をやり、その後現在の駅の輸送に異動になり、今を迎えています。

B 前職は、ある飲料メーカーの自動販売機等を設置する仕事です。当時は毎月のようにノルマに追われ、ノルマに届かないとバインダーでビンタされました。近距離で叱責されるのは当たり前でした。ノルマのプレッシャーで軽い鬱気味になり、妻から転職を進められ、JR東日本の社会人採用を見つけて、入社にいたしました。前職に組合はありませんでしたが御用組合でも機能していませんでした。そのような状況でも飲料メーカーでは大手だったので、そういうブランドに引かれて入社したらブラック企業でした。

JR東労組への加入の経緯は、当時の分会長から書いてくれと言われて、何の知識もなく、加入したという流れです。その当時はやっぱり人数が多かったので、誰もが所属する場所という認識があったから入りました。

B 前の会社を辞め、グリーンスタッフとして入社した後、試験に受かって、正社員で駅に配属になりました。

その前は警備会社にいました。業務内容は警備ですが、馬鹿にするような対応もされ、人間として下に見られがちでした。2年間いましたけど、基本給料が貰えないときもありました。休みも勝手に勤務になるので楽しくありませんでした。転職の一番の要因は鉄道会社へ入りたかったので、契約社員があるなら行くかと思いました。前職は一族経営なので組合はありませんでした。

JR東労組に入った時というのは、駅の分会長に紙を渡されて、書いて終わり、誰もが入るものなんだと思って違和感なく入ったというのを覚えてます。JRに入ったからそういうものだと思っていました。

18春闘までJR東労組をどのように見ていましたか？

A 本音で言うと、当時の支部の会議では営業職場の自分たちはよそ者感があった。連転職場の方々が仲良くやって、その中に営業職場の自分たちがお邪魔させてもらっている感覚だった。あのままの活動をしても、あの垣根を超えることはなかったですね。

B 18春闘まで流れに乗って組合に加入して、集会や会議に関しては、正直行きたくなかったですね。別に緊急性もないのに、プライベートな時間が削られるのはめんどくさかった。ただ、スポーツや飲み会には行きますと即答していました。

18春闘時の状況を教えてください。

A 当時の18春闘の時、支部でストライキに関して、〇か×か会議で確認した際に、2つの駅分会だけ反対していた。私は状況からしてストライキという言葉自体出すべきじゃないと考えていた。しかし、当時の役員は「考え直してくれ」しか言わなかった。反対意見を受け止めるのではなく、反対意見を出した自分たちが考え直さないといいのかわかった。大多数の意見は通って、少数の意見は潰される組織だったのかなと思います。その後、分会は誰もいなくなりました。しかし、その時の判断は間違っていないと思っています。

今私は加入届を出したから組合には所属していませんが、再加入したと思っていない。どちらかと言うと、JR東労組の方が変わったと思ってるので、再加入の言葉はあつてないような気がするんですね。言葉は厳しいが失礼かなと思います。

B 正社員になって連う駅に行っただけですけど、元の駅の時とはライフサイクルの方などがいたので、すごい組合って熱あるんだなと感じていたが、転動したら周りの人が組合に対し協力的ではなかった。やっぱり、これが営業職場と連転職場の違いかなと感じていた。

脱退した理由を聞かせてください。

A 組織として間違った方向に進もうとしたからですね。ストライキに反対したのに声を聴いてくれなかったから見限ったということです。

B 私自身は人間関係だとかが大事だと思っていたので、脱退する意思はなかったんですけど、再度の転動を機に脱退しました。転動時に「組合に入っているんだよね」と言われ、転動先が組合員0人というもあり、しょうがないと思って脱退しました。労働組合に対して嫌悪感を覚えて脱退したわけではなかったです。

辞めてよかった？

A 辞めてからは、極端に仕事以外で会社の人の付き合いはなくなりました。妻は娘が小さかったので喜んでいましたけど。

組合を辞めてから、ポテンシャルというのは将来の経営の大切な人材、そこを守らないといけないという話が駅長からあって社友会ができた。そこにはみんな入るとい話があつて入りました。

B 組合を辞めて手取りが上がりました。とりわけ会社の方向性とか問題なければ手取りも上がったし、これでもいいのかなと思っていました。

組合をやめてから、段々、会社のやり方が、特に変革2027のスピードが速すぎるなと思ってきました。当社の最重要課題の究極の安全を脅かすぐらいの施策だと思つたので、このままだったらやばいかなと思っていましたが、流れで入らされている社友会に言ってもそんなのは出来なないなと思っていました。そもそも、社友会は活動してないですから話すチャンスもありませんでした。

どのようなきっかけがあつて再加入を考え始めたんですか？

A 社会環境が変化していくなかで、企業も変化するのは分かるが、そのスピードが速すぎると思います。コロナに乗じて様々なことをやってきて、特にきつかけとなったのは休業指定を就業規則に記載することです。その時社友会に属していたので、代表の方に休業指定なんて聞いてないですよ。俺は嫌ですという話をしたら、社友会は反対の意見とかを聞くところではないからと言われた。だとしたら何の組織なんですかという疑問を持ったのがきっかけでした。

社友会は反対の意見を聞くところではないというのはいかがですか。全く受け付けられないんですか？

A 全く受け付けなかったですね。議論して良い方に進めて行かないじゃないですか。みんなの意見で議論して作り上げて会社側もそれを判断すると思っていました。しかし、その反対の意見だけでなく賛成の意見も受け付けられない。もう会社がこうしろと言ったらこうする組織。だとしたらその組織って必要あるのかと感じました。自分たちって何なんですか、機械と代わった方がいいのではと感じましたね。

B このコロナ禍に合わせて様々な改革を会社が打ち出してきて、それを受け入れざるを得ない状況です。実際にコロナが終息したら営業の現場は回るのかという危機感を持ち、怖くなりました。その中で社友会が一番大きいことが危険だと思つたことが組合の加入を考えた一番の理由です。最近働いていても、我々は動物かと思うぐらい生き甲斐を感じないことが正直あります。

再加入を考えたきっかけは？

「社友会は反対の意見とかを聞くところではないから」と言われた。……反対の意見だけでなく賛成の意見も受け付けられない。その組織って必要あるのかと。